『みんなが集う みんなで育む みんなで優しい みんなを結ぶ 一ちはやあかさか』

I 学力の向上と教育力の充実

① 学力向上の取組みの充実

「確かな学力」の育成に取り組む。学力向上担当者会議で村全体に良い取り組みを広める。

② 言語活動の充実および読書活動の推進

全教科にて言語活動の充実をめざす。読書習慣の定着をめざし、知的好奇心を養う取り組みを進める。

③ 英語教育の充実及び国際理解教育の推進

村全体で英語教育を進める。留学生との交流や海外派遣、小中一貫の教育内容等の協議を進める。

④ 情報活用能力の育成および ICT 教育の効果的な活用

タブレット型端末を各校の教室で使えるように整備し、授業で活用できるように研修を行う。

⑤ 障がいのある子ども一人一人に応じた教育(支援教育)の充実

一人一人のニーズに応じたきめ細かな指導を行う。病名等に応じた専門家を呼び研修を行う。

⑥ 家庭学習・放課後学習の充実

放課後学習室を全ての学校で実施し、自学自習の習慣をつける。

Ⅱ 豊かでたくましい人間性の育成

① 心の教育の充実

道徳教育の充実をめざす。道徳推進教師と協議し、研修や研究授業を実施する。

② 郷土学習の充実

各学校園で地域の伝統文化に触れたり、金剛山に親しんだりして、郷土へ愛着と誇りを持たせる。

③ キャリア教育の推進

村のキャリア教育全体計画をもとに、志を持ち、人生を切り開く子ども育成する。

④ 人権尊重の教育の推進

人権意識を日頃の教育活動から充実させ、人権尊重の視点に立った取り組みを推進する。

⑤ 幼児教育の推進

給食の充実、預かり保育の延長などを実施する。異年齢とともにのびのびとした表現活動を行う。

⑥ 体力づくりの推進

各校の子どもたちの実態に合わせて「体力づくり推進計画」を策定し、体力づくりに取り組む。

⑦ 食育の充実

食指導を幼稚園から中学校まで行う。地産地消や郷土料理などを積極的に進める。

Ⅲ 安全安心な学校づくりの推進

① 生命尊重の取組み

自他の命を大切にする教育を進める。定期的な心のアンケートで健康把握をする。不審者対策等の実施。

② いじめ防止

毎月、村生指担当者会を開き、実態把握と防止について協議する。

③ 虐待防止

村福祉部局とともに要保護児童対策協議会を定期的に実施。子ども家庭センターとも連携をはかる。

④ SC, SSWの活用

SC(中学校週1回)とSSW(小学校月2回)を配置し、問題行動等の未然防止や心のケアを行う。

⑤ 防災教育の推進

役場担当者、各校管理職、防災士等で防災教育実践委員会を開く。主体的に行動する防災教育の実施。

⑥ 食物アレルギーへの対応

一人一人の食物アレルギーに対応した給食を提供。また異常時の対応マニュアル体制を構築する。

Ⅳ 学校及び教職員の資質の向上

① 学校評価

教職員全体で共通理解し、PDCA を明確にして取り組みを進める。

② 幼・小・中一貫教育および村立学校園の連携

村立学校園一貫教育に向け、全体研修や課題別分科会を行い目指す子ども像の共通理解等を進める。

③ 教職員の資質向上及び不祥事の未然防止

ミドルリーダー育成、不祥事防止研修、評価育成の実施、勤務時間等の改善に取り組む。

V 社会教育関係

① 生涯学習の充実

村民歴史講座、子ども講座、英会話教室の実施。近隣市町村との連携の充実。

② スポーツ振興

村民スポーツフェスティバルの実施。他地域との交流や広域開催のスポーツ大会の開催。

③ 青少年の育成

青少年指導員連絡協議会の開催。キャンプリーダースクール等の実施。

④ 文化財の保全活用

楠木正成に関わる資料や国指定の史跡等について観光資源として積極的に活用をはかる。